

平成 31 年 1 月 11 日

保護者の皆様へ

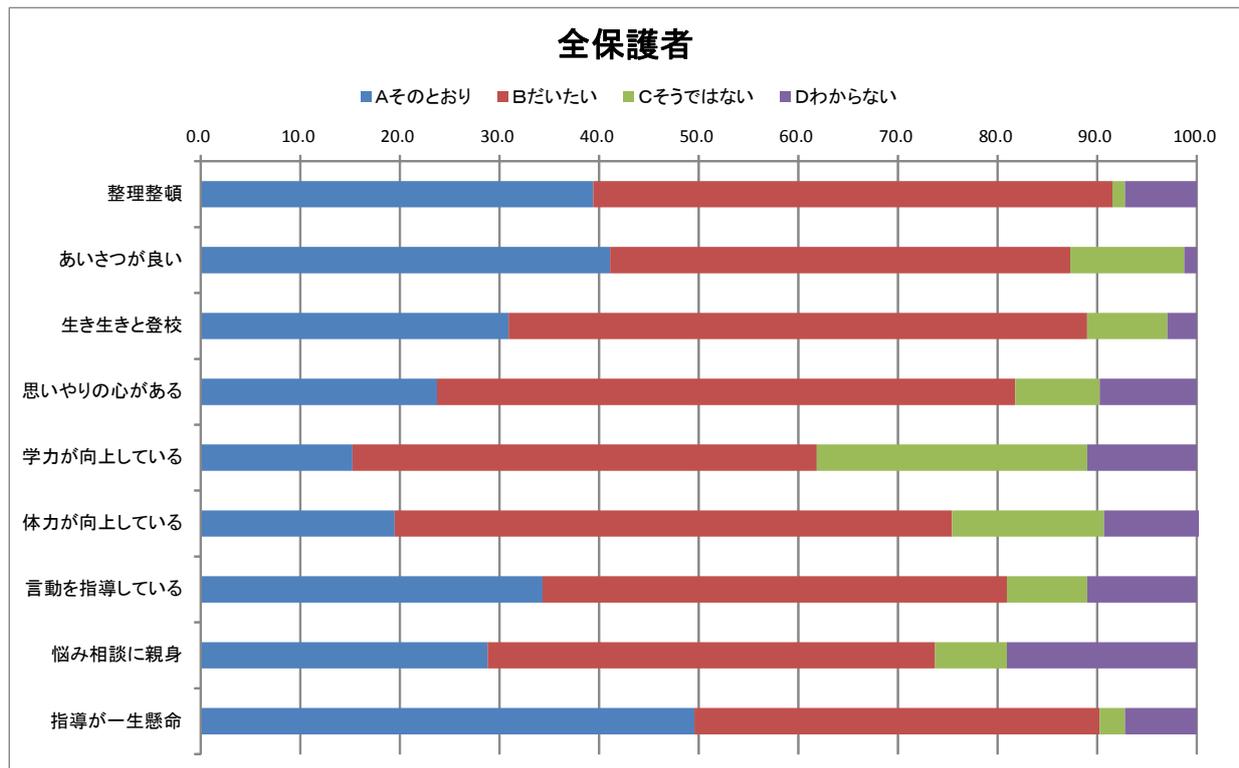
いわき市立四倉中学校長 鈴木 正人

学校評価に関するアンケート結果のお知らせ

厳寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、二学期末に実施いたしました「学校評価に関するアンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

保護者の皆様からは、貴重なご意見をいただきました。この結果を真摯に受け止め、三学期はもちろん、来年度に向けての学校教育改善のための資料として活用させていただきます。



○「整理整頓されていて気持ちがいい」の回答はAとBで91.5%でした。子ども達や教職員が、古いながら校舎を大切に使用していることを理解していただいていることがわかります。

○生徒に関する質問

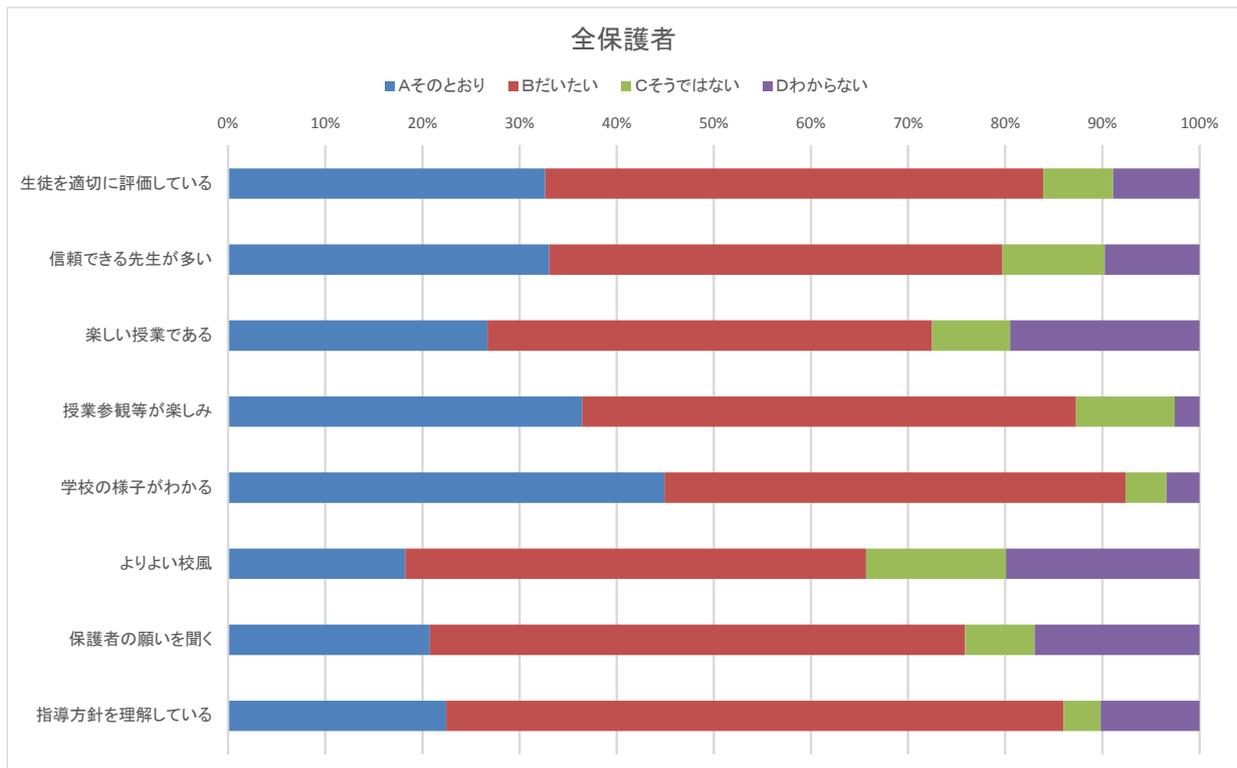
AとBの値が、「生徒はよくあいさつする」は87.3%、「生き生きと登校している」は89.0%、「思いやりの心がある」は81.8%と高い回答率になっています。しかし、どの項目も昨年度より5ポイント程度下がっています。現状に満足せず、継続した指導を大切にしていきます。

また、AとBの値が「学力が向上している」は61.9%、「体力が向上している」は75.4%と例年と同じで低い傾向が見られました。来年度の高校入試から制度が変わり、全員受験になることを見据え、子どもたちの基礎基本事項の確実な定着を図るなど、授業の充実と家庭学習との連携を図りながら、学力向上を目指す指導を実践します。

体力向上については、男女とも「新体力テストでの「A」の評価者が増加」したり、「各部活動で好成績を取めたり」と体育の授業での基礎体力アップのトレーニングの成果や、部活動で意識的に基礎体力向上のメニューを組み込んだ成果が出始めています。

○先生に関する質問

AとBの値が、「指導が一生懸命」は90.3%であり、通常の頑張りを受けていただいていると思われます。一方、「悩み相談に親身」は73.7%と先生の対応に課題があることがわかりました。



○先生に関する質問

AとBの値が、「信頼できる先生が多い」は79.7%、「楽しい授業」は72.5%と、どの項目も昨年度より5ポイント程度下がっています。AとBの結果が70%台とまだまだ対応に改善の余地があります。教員が今まで以上に子ども達に寄り添い、適切な指導等をしながら信頼度を高める努力を継続していくことが大切であることがわかります。

また、「保護者の願いを聞く」のAとBの値は75.9%でした。今までよりも保護者と話しをする機会を設け、保護者の考えを伺う姿勢を持ち、生徒や保護者の願いを実現できる学校を目指したいと思います。

○開かれた学校

AとBの値が、「学校の様子がよくわかる」は92.4%でした。これは、学校だより、学年通信や学級通信、そしてホームページで積極的に情報を発信している成果だと思われます。これからは、どのような内容をどのタイミングでどのような手段でお知らせするかなど、いろいろ改善しながらよりよい内容を積極的に発信します。

また、「授業参観等が楽しみ」は 87.2 %でした。保護者の皆様が学校に来て子ども達の姿を見る機会を楽しみにしていることがよく分かります。

<まとめ>

四倉中は、次のことを目指し、実践します。

- ① すべての生徒が「学校生活が楽しい」と回答する学校を目指します。
- ② 教師は「わかる授業」を実践し、子どもたちの学力向上を目指します。
- ③ 教師は、子どもたちが家庭学習の習慣が身につくような手立てを考え、実行します。
- ④ 学校行事、部活動、生徒指導については保護者の評価が高いです。教師は、これまでの取り組みを継続していきます。